



機能グループ テンプレートの設定

- [機能グループ テンプレートの概要 \(1 ページ\)](#)
- [機能グループテンプレートの要件 \(2 ページ\)](#)
- [機能グループ テンプレートの設定 \(2 ページ\)](#)

機能グループ テンプレートの概要

機能グループテンプレートは、設定された電話機および電話回線を使用してエンドユーザを展開するのに役立ちます。機能グループテンプレートを使用すると、その機能グループテンプレートが割り当てられているすべてのユーザーに公衆電話、電話回線、サービス設定を割り当てることができます。エンドユーザのセルフプロビジョニングも有効にしている場合、機能グループテンプレートを使用すると、ユーザは、目的の電話、電話回線、サービスの設定を使用して、簡単にプロビジョニングと電話機の設定を行うことができます。

機能グループテンプレートの設定には、機能グループテンプレートに割り当てることができる次のプロファイルが含まれています。

- ユーザプロファイル: 一般的な電話機と電話回線の設定のセットが含まれています。共通の電話回線の設定を割り当てるユニバーサル回線テンプレートと、共通の電話回線の設定を割り当てるユニバーサルデバイステンプレートを使用して、ユーザプロファイルを設定する必要があります。これらのテンプレートは、セルフプロビジョニングを設定しているユーザが自分の電話機を設定するのをサポートします。
- サービスプロファイル: 会議やディレクトリ サービスなどの Unified Communications サービスにおける共通の設定グループが含まれます。

ユーザプロファイルとサービスプロファイルを含むように機能グループテンプレートを設定し、その後、その機能グループテンプレートをユーザに割り当てると、エンドユーザがプロビジョニングする新しい電話にユーザプロファイルとサービスプロファイルが伝搬されます。

IM and Presence サービスを展開する場合は、機能グループテンプレートを使用して、インスタントメッセージおよびプレゼンス機能で LDAP 同期ユーザを有効にできます。

機能グループテンプレートの要件

機能グループテンプレートを設定する前に、エンドユーザ用のユーザプロファイルとサービスプロファイルを設定します。

- [ユーザプロファイルの設定タスクフロー](#)
- [サービスプロファイルの設定タスクフロー](#)

機能グループテンプレートの設定

機能グループテンプレートは、プロビジョニングされたユーザ用に、電話、回線、および機能をすばやく設定できるようにすることで、システムの展開をサポートします。企業の LDAP ディレクトリからユーザを同期している場合は、ディレクトリからユーザを同期させるユーザプロファイルおよびサービスプロファイルを使用して機能グループテンプレートを設定します。このテンプレートを使用して、同期されたユーザに対して IM and Presence Service を有効化することもできます。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [機能グループテンプレート (Feature Group Template)] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** 機能グループテンプレートの [名前 (Name)] と [説明 (Description)] を入力します。
- ステップ 4** このテンプレートを使用するすべてのユーザのホームクラスタとしてローカルクラスタを使用する場合は、[ホームクラスタ (Home Cluster)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** このテンプレートを使用するユーザがインスタントメッセージおよびプレゼンス情報を交換できるようにするには、[Unified CM IM and Presenceのユーザを有効化 (Enable User for Unified CM IM and Presence)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 6** ドロップダウンリストから、[サービスプロファイル (Services Profile)] および [ユーザプロファイル (User Profile)] を選択します。
- ステップ 7** [機能グループテンプレートの設定 (Feature Group Template Configuration)] ウィンドウの残りのフィールドに入力します。フィールドの説明については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 8** [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

機能グループ テンプレートと LDAP ディレクトリ同期を関連付け、テンプレートの設定を同期したエンド ユーザに適用します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。